

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲	第	号
------	-----	---	---

氏 名 Mohammad Abul Bashar Sarker

論 文 題 目

Evaluation of Knowledge, Practices, and Possible Barriers among
Healthcare Providers regarding Medical Waste Management in Dhaka,
Bangladesh

(バングラデシュのダッカでの医療用廃棄物に関する知識、習慣、
想定される障害についての医療提供者による評価)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委 員

石井 晃



名古屋大学教授

委 員

加藤 昌志



名古屋大学教授

委 員

若井 建志



名古屋大学教授

指導教授

濱嶋 信之



論文審査の結果の要旨

Bangladeshにおける医療従事者の医療廃棄物処理に関する知識と実際の業務手順を調査した。調査は2012年7月から9月にかけて、ダッカの3次病院1施設、2次病院3施設、1次病院3施設で実施した。対象は医師245人、看護師220人、技師44人、清掃職員116人の計625人で、自記調査票を用いてデータを収集した。ただし、清掃職員については研究者が聞き取りを行った。医師と看護師の3分の1、技師と清掃職員の3分の2は十分な知識を持っていなかった。44%の医師と56%の清掃職員は適切な対応をしていなかった。訓練を受けたことのない医療従事者で不適切な対応をする者が多かった。個人防衛具、処理用器具、選任職員、ガイドライン、焼却施設のないことがもっとも大きな問題であった。教育訓練プログラムの強化と政府の財政的支援が必要である。





本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 医療従事者の医療廃棄物に関する知識と実際の業務手順を調べることは重要である。 Bangladeshの病院の対応は十分でなく、医療従事者は病院業務を行うにあたり、医療廃棄物を介する重篤な疾患罹患のリスクにさらされている。針刺し事故による清掃職員の、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、HIV感染およびブドウ球菌による敗血症や心内膜炎がこれまでに報告されている。このようなリスクに対応する方法を検討するために、医療従事者における医療廃棄物処理に関する知識と実際の業務手順をほん研究では調査した。
2. 本調査から医師よりも看護師のほうが確かな業務手順を実際に行っていることが判明した。考えられる理由として、看護師のほうが臨床の場で患者に接する時間が長く、かつ緊密であるため他の職種よりも感染のリスクが大きく、自らを守らなければならないことを実感していることがあげられる。医師は看護師よりも、医療廃棄物に対して意識が低く、不十分な対応をしていた。 Bangladeshでは、医療廃棄物管理は医師の責任ではないという考えが通常であり、そのことにより医療廃棄物に対して必要とされる業務手順を守らない傾向にある。
3. 現実にどのように Bangladeshでは医療廃棄物が処理されているか。 Bangladeshでは焼却炉による処理がもっとも医療廃棄物の処理としては多いが、各医療施設において、適切で効率の高い方法で焼却処理されているわけではないことに留意する必要がある。医療廃棄物であっても一般ごみと混ぜられて道路わきの収集所に出され、注意が払われずに開放された焼却場で処理されたり、埋められたりしている。

本研究は、 Bangladeshにおける医療廃棄物に対する医療従事者の知識および対応の実態を明らかにし、適切な医療廃棄物処理の手順遵守を更に高めることの必要性を指摘した。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※甲第	号	氏名	Mohammad Abul Bashar Sarker
試験担当者	主査 石井 晃  加藤 昌志  若井 達志  指導教授 濱嶋 信之 			
<p>(試験の結果の要旨)</p> <p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者の医療廃棄物に関する知識と実際の業務手順を調べる重要性について。 2. 本調査により他の医療従事者（特に医師）よりも看護師のほうが的確な業務手順を実際に行っていることが判明。その主たる要因について。 3. バングラデシュにおける医療廃棄物処理の現状について。 <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、医療行政学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				